

鳥取県の将来ビジョン（案）の概要

どんな鳥取県を創っていくか

●みんなで創ろう「活力 あんしん 鳥取県」～心豊かな充実生活をめざして

県民、NPO、住民団体、企業、各団体等の知恵と力を結集して、地域・県外・国外と「顔が見えるネットワーク」を持ちながら様々な活動を行う活力に溢れる鳥取県。

そして、その活力を活かし、人生のあらゆるステージにおいて、豊かな自然・環境の中で、心の豊かさを実感しながら充実した生活を安心して送ることのできる鳥取県。

＝「活力あんしん鳥取県」を、県民とともに創ります。

鳥取県はどこに活路を見出すか～ポテンシャル（潜在的な力）を活かして

地勢的に北東アジアに近いことを活かし、

環日本海を始めとする「大交流新時代」へ踏み出します。

地理的に一体化している近畿圏域との間の時間距離が短縮することを活かし、

中国圏域の一員として、更に、グレーター近畿（京阪神を中核とした広域的経済圏域）の一員としても地域間連携を推進します。

住民が主体となって、企業やNPO、住民団体等と協働・連携して、自らの手で地域づくり等を進めていく素地があることを活かし、

協働・連携の素地を活かした、新しい「次世代型の地域づくり・ネットワークづくり」を推進します。大都市圏にはない豊かな歴史、自然・環境、食、文化等があることを活かし、

地域の「良いところ」・「誇りを持てるところ」を再認識して「価値を実感できる地域」を創出します。

「食のみやこ鳥取県」を支える豊かな食材があることを活かし、

「食のみやこ鳥取県」を鳥取県の一つの「文化」として定着させます。

多彩で特色ある産業が立地し、特色ある技術開発や調査研究が行われていることを活かし、

「高付加価値で打って出る産業」への転換と、地域の資源や技術を新しい発想で組み合わせる新しい価値や産業を創造します。

都市地域と中山間地域とがネットワークをつくりやすい県土構造であることを活かし、

都市地域と中山間地域が共生し、支え合う「持続可能な地域づくり」を推進します。

どうやって実現していくのか

県民の知恵と力の結集＝「顔が見えるネットワークで協働・連携」を進めます

人と人、人と地域との結びつきが強いということや、コンパクトなまとまりがあり、コミュニケーションやネットワーク形成が容易である鳥取県の特徴を活かし、県民一人ひとり、NPO、住民団体や地域活動を行う者・団体、企業等のそれぞれの主体が、地域づくりを始めとする様々な活動に「主体的に取り組む意思・スキル・ビジョンを持ち、お互いの戦略や情報を共有化し、お互いが顔が見える関係」＝「顔が見えるネットワーク」をつくり、総体として大きな成果をあげることを目指します。

新しい「次世代型の地域づくり・ネットワークづくり」を全県で展開します。

「人づくり・教育」を重視し、「人財」の養成を進めます

多数の「人財」を輩出するためには、「地域力」により、たくましい「人財」を育てることが重要です。本県の「人財」の養成に魅力を感じる県外の方が本県にUJIターンするような、本県の特徴も踏まえた「人財」養成を進めます。

・地域で「人財」を育てる「地域力」を強化します。

・鳥取県の特長を生かした多様でたくましい「人財」を育成します。

様々な分野で取組みを進めます

I【ひらく】地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉をひらく

(1)人、物、情報の「大交流新時代」を切り拓く～「北東アジアゲートウェイ構想」

(2)下請体質から「高付加価値で打って出る産業」へ転換し、新たなステージへチャレンジ

(3)就業を希望する人が県内で「いきいきと働ける就業環境」を整備

- (4) 素材が良く、安全安心で美味しい食の魅力を提供する「食のみやこ鳥取県」の推進と、それにふさわしい農林水産業
- (5) 観光による「ようこそ、ようこそ鳥取県」の実現
- (6) 活気あふれる「海外との交流」

Ⅱ【つなげる】様々な活動・力をつなげ、結集して、持続可能で、魅力あふれる地域を創る

- (1) 地域の資源や技術を新しい発想で組み合わせて新しい価値や産業を創造～「コラボ産業創造構想」
- (2) 県民、企業、NPO、住民団体等が、自由にかつ連携して、自らの地域づくりに取り組む「真の協働連携社会」の実現
- (3) 定住人口の減少を食い止め、新しい住民が増加～「鳥取来楽暮(とっとりこらぼ)」(鳥取県に来て、地域の人と一緒にあってコラボレーションしながら楽しむ暮らし)
- (4) 中山間地域の住民生活の安全・安心を確保した「持続可能な地域づくり」
- (5) 「交通基盤・情報基盤の充実」で利便性向上・地域の活性化
- (6) 魅力があふれ、人が集う「にぎわいまちづくり」
- (7) 地域の力となり、企業の利益にもつながる「企業の公益活動・社会貢献活動」

Ⅲ【守る】鳥取県の豊かな恵み・生活を守り、次代へつなぐ

- (1) 豊かな自然・環境を守り、育て、次代につなげる～「自然・環境バトンリレープロジェクト」
- (2) 安全に安心して暮らせる「安全・安心の充実」
- (3) 「災害に強い県土」をつくる
- (4) 「実践型の防災・危機管理」

Ⅳ【楽しむ】いきいきと楽しみながら充実した生活を送る

- (1) 本県の豊かな歴史、自然・環境、食、文化等を知り、楽しむとともに、地域において自分の存在や役割に手応え・充実感が感じられる「価値実感生活」の実現
- (2) 芸術・文化を振興することによって、地域の「創造性」を高める
- (3) 「いつでもどこでも学べる環境」づくりと「スポーツ振興」

Ⅴ【支え合う】お互いを認め、尊重して、支え合う

- (1) 一人ひとりの人権が尊重され、「それぞれの個性と能力が発揮できる社会」、「誰もが、家庭・地域・職場のあらゆるところで、心豊かに暮らせる男女共同参画社会」
- (2) 人種・国籍・文化・言語の違いを認め合い、尊重する「多文化共生社会」
- (3) 高齢の方や、障害のある方、社会的に支えを必要とされる方が地域・社会の中で「質の高い生活」を送る
- (4) 「あんしん医療体制」構築と「健康づくり文化」の創造

Ⅵ【育む】次代に向けて、躍動する「ひと」を育む

- (1) 地域みんなで応援する「すこやか子育て」
- (2) 「人財・鳥取」の推進
 - ・「地域の知の拠点」としての高等教育機関等の地域連携・貢献と、それを通じた「人財」育成
 - ・地域に信頼され、地域の要請に応えられる学校教育と学校づくり
 - ・「知」「徳」「体」のバランスの取れた学校教育
 - ・家庭・地域の教育力を確立し、地域社会を支える「人財」を地域全体で育てる「地域循環型」教育の推進
 - ・身近なものから最先端のものまで、科学・ものづくりに触れる機会を増やし、創造的で人間力を持った「人財」を育成

「鳥取県の将来ビジョン」とは…

今後概ね10年の間に取り組むべき課題や、目指すべき姿を県民の皆様と共有し、今後の県政運営の基本とするものです。毎年度の予算や事業を県民の皆様とともに作り上げていくための指針となります。